

平成 30 年 12 月 18 日  
独立行政法人 国際協力機構

「2016～2018 年度 JICA ボランティア選考支援業務」の  
実施要項の変更及び契約変更について<sup>1</sup>

1. 事業の概要等

(1) 委託業務内容

独立行政法人国際協力機構（以下、「機構」という。）が実施するボランティア派遣事業への応募者の中から、体力、精神力及び活動を行うに十分な技術力を持つと認められる個人を選考する業務の支援。具体的内容は以下のとおり。

- 1) 応募受付業務
- 2) 一次選考事前準備業務
- 3) 一次選考業務
- 4) 二次選考事前準備業務
- 5) 二次選考業務
- 6) 選考後処理業務
- 7) オファー・線対上対応業務
- 8) 選考データの管理

(2) 受託した民間事業者

公益社団法人青年海外協力協会

(3) 契約期間

2016 年 3 月 1 日から 2019 年 4 月 30 日まで（3 年 2 か月間）

2. 契約における変更点

(1) 履行期間の延長

2019年5月1日～2019年9月30日（5ヵ月）

(2) 契約変更の経緯

2019年度の新規契約に関し、ボランティア事業全体の付加価値向上と競争力強化に繋げることを目的としたIT技術を活用した選考業務の合理化を準備中であり、また、データ利用や

<sup>1</sup> 第 212 回官民競争入札等監理委員会（平成 30 年 5 月 22 日）において、市場化テスト 2 期目の事業評価審議を行い終了プロセス移行が議了され、次期事業から機構の責任により実施することになる。（今回の契約変更は第 2 期市場化テスト実施対象事業に関するものである。）

IT化が含まれており、合理化に向けた意思決定及び作業に一定期間を要することから、現契約終了前に次期委託先を調達することが困難であると判断したため、次期契約締結までに要する時間を考慮し、本契約を5ヵ月間延長する。

(3) 契約金額の変更

	費目	金額 (税込)
2016年度	人件費	69,120,000
	管理費	17,280,000
	直接経費	138,348,000
	小計	224,748,000
2017年度	人件費	69,120,000
	管理費	17,280,000
	直接経費	138,348,000
	小計	224,748,000
2018年度	人件費	69,120,000
	管理費	17,280,000
	直接経費	138,348,000
	小計	224,748,000
合計 (変更前)		674,244,000
2019年度 (増額分)	人件費	
	管理費	
	直接経費	
	小計	
合計 (変更後)		

(4) 実施要項の内容の変更

業務内容自体の大きな変更はないが、以下の(※)における制度変更により実施要項の一部を見直すこととする。

(※) JICAボランティア事業制度の変更 (総称・呼称変更について)

JICA ボランティアは総称を「JICA 海外協力隊」と改め、専門性による区分によって呼称を分ける。

**JICA海外協力隊の新呼称と専門性・年齢区分**

名称	専門性区分	年齢区分
① 青年海外協力隊	一般案件	20歳以上70歳未満
② シニア海外協力隊	シニア案件	20歳以上70歳未満

※「一般案件」とは、幅広い技能・経験で応募可能な案件。「シニア案件」とは、一定以上の経験・技能が求められる案件。2018年秋募集では、一般案件は職種応募、シニア案件は案件応募で募集を行った。なお、一般案件で派遣される46歳以上70歳未満の方は「海外協力隊」として派遣される。

※ 上記区分で中南米の日系社会に派遣されるJICAボランティアをそれぞれ「日系社会青年海外協力隊」「日系社会海外協力隊」「日系社会シニア海外協力隊」と呼ぶ。

以上

別紙：民間競争入札実施要項 新旧対照表

## 実施要項 修正箇所について

## 1. 総称・呼称の変更

旧	新
総称：JICAボランティア	総称：JICA海外協力隊
呼称：青年海外協力隊（JV）、シニア海外ボランティア（SV）、日系社会青年海外協力隊、日系社会シニア海外ボランティア、短期ボランティア	呼称：青年海外協力隊（JV）、シニア海外協力隊（SV）、日系社会青年海外協力隊、日系社会シニア海外協力隊、JICA海外協力隊（短期）または短期派遣

## 2. 実施要項各条項の修正

（1）実施要項 2. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項 （2）選考支援業務の概要

旧	新
選考は長期ボランティアについては年2回（春（5月中旬から8月下旬頃）及び秋（11月中旬から2月下旬頃）、JICA海外協力隊（短期）及びシニア海外協力隊ロスター制度については年4回（6月上旬、9月中旬、12月中旬、3月中旬から約2か月～3か月程度）行うが、その前後においても事前準備、事後処理の業務が求められる。	選考は長期ボランティアについては年2回（春（4月上旬から7月中旬頃）及び秋（10月上旬から2月上旬頃）、JICA海外協力隊（短期）は年3回（4月上旬、9月上旬、12月中旬から約2か月～3か月程度）、シニア海外協力隊ロスター制度については年4回（6月上旬、9月中旬、12月中旬、3月中旬から約2か月～3か月程度）行うが、その前後においても事前準備、事後処理の業務が求められる。

（1）実施要項 2. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項 （3）委託業務の内容 イ. ボランティア選考支援業務（イ）各業務の内容（長期海外協力隊/JOCV、SV、NJV、NSV 年2回（春及び秋）、各回 JOCV 応募者 1700 名、SV500 名、NJV100 名、NSV70 名程度（実績は別紙 4 を参照））

旧	新
1) 応募受付業務 4月、10月上旬より6週間程度	1) 応募受付業務 2月中旬、8月下旬より6～7週間程度
2) 一次選考事前準備業務	2) 一次選考事前準備業務

5月中旬、11月中旬より3週間程度	4月上旬、10月上旬より3週間程度
3) 一次選考業務 5月下旬、11月下旬より3週間程度 ① 技術審査書類結果の回収及び入力 ② 健康診断結果の回収及び入力 ③ <u>TOEICIP テスト及び JICA 西仏語学定期テスト結果の取付合否判定会議資料の作成</u> ④ 合否判定会議資料の作成 ⑤ 一次合否通知案の作成および受験者への結果送付 ⑥ 一次選考状況のデータ作成 ⑦ 合格者、不合格者への対応	3) 一次選考業務 4月下旬、10月下旬より3週間程度 ① 技術審査書類結果の回収及び入力 ② 健康診断結果の回収及び入力 ③ 合否判定会議資料の作成 ④ 一次合否通知案の作成および受験者への結果送付 ⑤ 一次選考状況のデータ作成 ⑥ 合格者、不合格者への対応
4) 二次選考事前準備業務 6月上旬、12月上旬より4週間程度	4) 二次選考事前準備業務 5月上旬、11月上旬より4週間程度
5) 二次選考業務 6月下旬、12月下旬より6週間程度	5) 二次選考業務 5月下旬、11月下旬より6週間程度
6) 選考後処理業務 8月上旬、2月上旬より4週間程度	6) 選考後処理業務 7月上旬、1月上旬より4週間程度
7) オファー(注1)・繰上対応業務 8月下旬、2月下旬より随時発生	7) オファー(注1)・繰上対応業務 7月下旬、1月下旬より随時発生

(1) 実施要項 2. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項 (3) 委託業務の内容 イ. ボランティア選考支援業務

旧	新
(ロ)各業務の内容 (短期ボランティア/JOCV、SV、NJV、NSV 年4回 各回130名程度(実績は別紙4を参照))	(ロ)各業務の内容 (JICA 海外協力隊(短期)/JOCV、SV、NJV、NSV 年3回 各回130名程度(実績は別紙4を参照))
3) 一次選考業務 ① 技術審査書類結果の回収及び入力 ② 健康診断結果の回収及び入力 ③ <u>JICA 西仏語学試験の結果回収及び入力</u> ④ 合否判定会議資料の作成 ⑤ 一次合否通知案の作成および受験者	3) 一次選考業務 ① 技術審査書類結果の回収及び入力 ② 健康診断結果の回収及び入力 ③ 合否判定会議資料の作成 ④ 一次合否通知案の作成および受験者への結果送付 ⑤ 一次選考状況のデータ作成

への結果送付 ⑥ 一次選考状況のデータ作成 ⑦ 合格者、不合格者への対応	⑥ 合格者、不合格者への対応
--	----------------

(1) 実施要項 2. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項 (3) 委託業務の内容 イ. ボランティア選考支援業務 (ハ) 各業務の内容 (シニア海外協力隊ロスター制度、年4回、各回10名程度)

旧	新
3) 一次選考業務 ① 技術審査書類結果の回収及び入力 ② 健康診断結果の回収及び入力 ③ <u>JICA 西仏語学試験の結果回収及び入力</u> ④ 合否判定会議資料の作成 ⑤ 一次合否通知案の作成および受験者への結果送付 ⑥ 一次選考状況のデータ作成 ⑦ 合格者、不合格者への対応	3) 一次選考業務 ① 技術審査書類結果の回収及び入力 ② 健康診断結果の回収及び入力 ③ 合否判定会議資料の作成 ④ 一次合否通知案の作成および受験者への結果送付 ⑤ 一次選考状況のデータ作成 ⑥ 合格者、不合格者への対応

以 上